

◆ 6月27日(土) 13:00~17:30 <基調提起 講演 分科会>

17:40~18:30 <第17回総会>

※総会終了後、懇親会を予定しております

◆ 6月28日(日) 9:30~12:30 <記念シンポジウム>

◆ 会場(両日とも) コープイン京都



## 統一テーマ：危機の時代における協同組合の課題

～多様な地域のあり方に対応して協同の形を創造するマネジメントはなぜ必要か？～

### (開催趣旨)

私たちは歴史的危機のもとにいます。既存の社会体制・価値観などがそのまま存続しえない状態のことを危機といいます。しかし、既存の制度が崩壊するからといって一夜にして新しい世界が出現するわけではありません。歴史から学ぶべきは、第1に、危機はこれまでの変化(トレンド)を加速させるだけだということ、第2に、危機は10年単位で長期にわたるだろうということです。そこで、今回のシンポジウムでは、あらためて、これまで私たちがシンポジウム等で追究してきた変化(トレンド)の意味を問い直すことにしました。

その際、私たちが注目したのがマネジメントです。継続的・計画的に事業を遂行しようとする日常的な営みがマネジメントです。「マネジメントは技術なのでどこも同じだ」と考える人もいるかもしれませんが、その実態は多様です。もちろん、協同組合であれ株式会社であれ、商品供給事業であれ福祉事業であれ、事業があるところにはマネジメントがあります。私たちはこのマネジメントを、「多様な地域のあり方に対応して協同の形を創造する行為」と定義し直し、「地域の特徴を発見する」、「つながりをつくる」という2つの側面に焦点を当てることによって、何がマネジメントに求められているのか、そもそもマネジメントとは何か、を考えてみることにしました。

組織が大規模化・専門化すると、「縦割り」や「個割り」といわれる事態が進み、つながり(協働)をつくりにくくなります。その結果、現場や地域がわかる人がいなくなったり、だれも全体のことがわからなくなったりします。事業は、地域の自然・人口・文化・歴史など「地域の特徴」に依存しているにもかかわらず、地域のリアリティ(多様性)がみえにくくなってきています。地域がみえにくくなり、つながりがつくりにくくなっている現代のトレンドのもとで、協同組合にはどのような可能性が開かれているのでしょうか。そこでの協同組合のあり方はどのようなものなのでしょうか。各地の取り組みから考えていきたいと思えます。

➤ 開会挨拶・基調提起 『危機の時代と協同組合の課題』

的場信樹氏 (当研究所理事長 佛教大学教授)

➤ 講演 『人を育てる生協の潜在力～大規模化・標準化と地域分権・組合員参加を考える～』

上掛利博氏 (当研究所研究委員会代表 京都府立大学教授)

【第1分科会】 事業と活動の相乗効果 ～多様な地域のあり方にふさわしい協同(組合)の姿～

コーディネーター 上掛利博氏

協同組合の価値である「信頼」を生かして、地域によって異なる様々なくらし、そこでの人々の思いや悩みに寄りそうことで、事業と活動の相乗効果を生み出すことができるのではないかとこの観点から、協同組合の未来を考えてみたい。

(話題提供) 田中義昭氏 (生活協同組合しまね 理事)  
喜代永真理子氏 (福祉クラブ生活協同組合 理事長)  
関口明男氏 (福祉クラブ生活協同組合 専務理事)  
山田満代氏 (特定非営利活動法人 友・遊 事務局長)

【第2分科会】 組合員に役立ち続ける生協経営

コーディネーター 二場邦彦氏 (当研究所研究委員 立命館大学名誉教授)

2つの生協からの報告をベースに、経営理念の組織への浸透とトップの役割、職員・パート職員の自発性の引き出しと管理および組織のあり方、大規模化の下での「つながり」づくり、などを掘り下げる。

(話題提供) 真方和男氏 (生活協同組合コープみやざき 常務理事)  
池 晶平氏 (生活協同組合おおさかパルコープ 副理事長)

【第3分科会】 生協の「総合力」発揮は可能か ～食と農を軸にして～

コーディネーター 北川太一氏 (当研究所研究委員 福井県立大学教授)

食と農を契機としたさまざまなつながり(人と人・組合員と地域住民、活動と事業、事業と事業、生協と地域の団体など)づくりを「総合力」と捉えたいうで、その可能性と実現条件を探る。

(話題提供) 須崎克己氏 (みやぎ生活協同組合 産直推進本部事務局長)  
佐原正哉氏 (生活協同組合コープしが 政策企画室室長)  
(コメンテーター) 辻村英之氏 (京都大学大学院 農学研究科准教授)  
片上敏喜氏 (京都府立大学大学院 農学研究科 大学院生)

【第4分科会】 介護ニーズに応え、地域のつながりづくりに貢献する協同組合の福祉事業を考える

コーディネーター 鈴木勉氏 (当研究所研究委員 佛教大学教授)

「コミュニティへの関与(責任)」は協同組合運動の原則の一つであるが、この視点をベースに、生協の福祉事業と協同組合間協同、「協同の形を創造する行為」としてのマネジメントを考える。

(話題提供) 中野啓民氏 (姫路医療生協福祉介護センター “つどい” 施設長)  
生活協同組合ヘルスコープおおさか (報告者調整中)  
岡村信秀氏 (広島県生活協同組合連合会 専務理事)

【研究交流会(第5会場)】 健康格差と非営利・協同組織

コーディネーター 高山一夫氏 (当研究所研究委員 京都橘大学准教授)

健康格差をめぐる最近の理論と政策対応を学習し、また農村医学の実践や医療生協運動など、日本で独自の発展をとげた非営利・協同セクターによる先駆的な実践とその到達点を振り返ること、健康格差社会における非営利・協同組織の役割について考える。

(基調講演) 松田亮三氏 (当研究所研究委員 立命館大学教授)  
(話題提供) 北澤彰浩氏 (JA長野厚生連・佐久総合病院 地域ケア科医長)  
藤谷恵三氏 (日本生活協同組合連合会 医療部会事務局長)

## 危機の時代における協同組合の課題

～多様な地域のあり方に対応して協同の形を創造するマネジメントはなぜ必要か?～

「100年に一度の経済危機」は、その乗り越え方次第では協同組合の姿が大きく変化する可能性があります。地域がみえにくくなり、つながりがつくりにくくなっている現代のトレンドのもとで、協同組合にはどのような可能性が開かれているのか。そこでの協同組合のあり方や求められるマネジメントとはどのようなものなのか。前日の分科会の議論を踏まえて、シンポジウムの統一テーマを参加者の皆さまとともに深めます。

【解題・コーディネーター】 的場信樹氏 (当研究所理事長 佛教大学教授)

【シンポジスト】 上掛利博氏 (当研究所研究委員会代表 京都府立大学教授)

二場邦彦氏 (当研究所研究委員 立命館大学名誉教授)

北川太一氏 (当研究所研究委員 福井県立大学教授)

鈴木 勉 氏 (当研究所研究委員 佛教大学教授)

報告後、全体討議

## \*\*\*\*\*&lt; 参加・申込み要綱 &gt;\*\*\*\*\*

◆お申込み : この案内の裏面に印刷されている『参加申込書』に必要事項をご記入の上、FAXなどでお申し込みください。

◆会場 : コープイン京都

◆定員 : 150名 (会場の都合上、定員になり次第受付を締め切らせていただきます)

◆参加費 : 会員 両日参加 3,000円 (1日参加 2,000円)

☆ 会員価格は、団体会員の構成員の方にも適用します。

非会員 両日参加 5,000円 (1日参加 3,000円)

学生・院生 両日参加 2,000円 (1日参加 1,000円)

◆宿泊 : 斡旋いたします。(一泊朝食付で、7,500円程度)

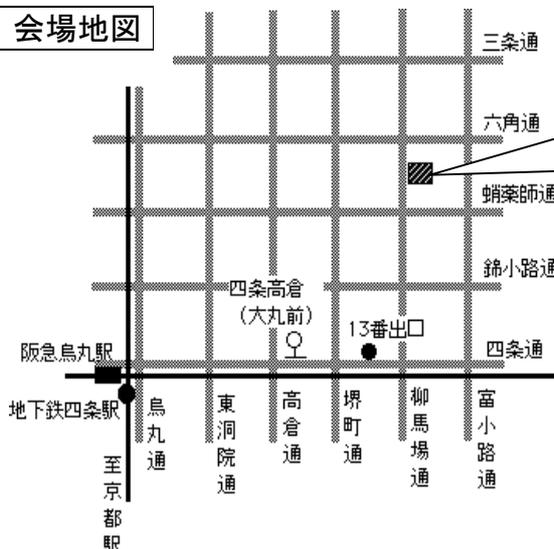
◆懇親会 : 参加費 5,000円 (会場: コープイン京都)



懇親会は、27日の総会終了後、18:30頃より開催いたします。

♪ 会員以外の方もお気軽に、総会へのオブザーバー参加、懇親会へのご参加をお願い致します。

## 会場地図



(会場) コープイン京都 (TEL:075-256-6600)

京都市中京区柳馬場蛸薬師上ル

地下鉄「四条駅」又は 阪急「烏丸駅」下車 徒歩13分

(お問い合わせ先)

くらしと協同の研究所

〒604-0851 京都市中京区夷川通烏丸東入る西九軒町 291

Tel : 075-256-3335 Fax : 075-211-5037

E-mail : [kki@ma1.seikyoku.ne.jp](mailto:kki@ma1.seikyoku.ne.jp) (ma1の「1」は算用数字)

URL: <http://ha1.seikyoku.ne.jp/home/kki/>

**第17回総会記念シンポジウム 参加申込書 (団体&個人)**

**【申込〆切り日】 6月15日(月) 【定員】150名** (定員になり次第、受付を締め切らせていただきます)

**【お願いとご案内】**

- ☆団体会員の構成員の方は、会員価格にてご参加いただけます。
- ☆参加される会場の欄にはすべて〇印をご記入ください。また、必要事項すべてにご記入下さい。
- ☆FAXで送信いただいた場合は、お電話で着信確認をおとりください。
- ☆宿泊は「コープイン京都」を予定しています。予約は当研究所にて行います。宿泊代は各自でご清算ください。

**※個人会員の方には、別途「総会出欠確認ハガキ」をお送りしますので、そのハガキにてお申込み下さい。**

<b>◆ 団体集約用 申込書</b> (研究所会員・非会員) ← いずれかに〇を										◆ 記入欄が不足の場合は、コピーしてお使いください。 ◆ 参加費は、同封の振込用紙で事前にお振込ください。 また、各団体で取りまとめてお振込いただければ幸いです。			
団体名							記入者名						
記入者 部署名					電話番号 部署直通で	TEL : FAX :							
住所	〒												
参加者氏名	役職	27日 講演、分科会、懇親会						28日 シンポジウム	参加費 合計	お支払い		宿泊 幹旋 27日	
		第1	第2	第3	第4	交流会 (第5)	懇親会			振込	当日		

<b>★研究所の個人会員の方へ★</b> 個人会員の方には、別途「総会出欠確認ハガキ」をお送りします。シンポジウム等もそのハガキでお申込みください。 欠席の場合、ハガキが「委任状」になっていますので、必ずご返信いただきますようお願いいたします。												
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

<b>◆ 個人申し込み用 (研究所会員でない方)</b> 該当の空欄にご記入ください												
参加者氏名	所属	27日 講演、分科会、懇親会						28日 シンポジウム	参加費 合計	お支払い		宿泊 幹旋 27日
		第1	第2	第3	第4	交流会 (第5)	懇親会			振込	当日	
住所	〒							電話番号				